



Walk with Children めぐる

大人 大人 大人

せいび

195号
2023年11月

すべて重荷を負って苦勞している者は、私のもとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよう。

・・・そうすれば、あなたがたの魂に安らぎが得られる。

マタイ 11章 28～29 節

校長 シスター 小島 理恵



落ち葉の季節となりました。今年は長い夏から秋を一気に駆け抜け、朝夕は冬が訪れた感があります。学校生活は前期から後期へと移りましたが、子ども達の様子に変わりはなく、毎日元気に過ごしています。

ホームページの「せいびブログ」でも紹介しましたが、先日、漢字検定試験協会より令和4年度の試験の結果、「協会賞」を受賞することができました。約3万団体の中から、合格率の高い4団体が選ばれる賞です。代表理事の先生がご来校くださり、執り行われた表彰式は、子ども達にとって大きな励みとなり、努力が実った体験ができた貴重な時間となりました。今年の検定試験にも張り切って挑戦することでしょう。保護者の皆様の励ましも、子ども達の背中を押してくださる力であったと思います。心より感謝申し上げます。

コネッショナー
Connessione

～つながり～

「Connessione」とは、イタリア語で「つながり」を意味する言葉です。

ここではキリスト教とのつながりを大切にするための豆知識を紹介していきます。



聞く耳のある者は聞きなさい

ルカによる福音書 8章1節～18節

カトリック東京大司教区の森一弘司教様が、9月に天に召されました。森司教様は、『カトリック学校に奉職する教職員のための養成塾』の講師も務め、立ち上げから現在まで長年に渡ってカトリック学校の精神や使命を我々に伝えてくださいました。

森司教さまの訃報が知らされた時、教会での知り合いの方が司教様の書籍（『神の発見』五木覚之 対談者・森一弘、平凡社）をご紹介くださいました。

司教様はこの中で、私達の様々な欲望の中での人生で、人間の真実にたどりつく時、救いの意味が見えてくる時について解かれています。決められた祈りの言葉を言えなくても、毎朝唱える習慣がなかったとしても、傷つき、もがき続ける人生の中で、神様に語りかけ、問いかけ、求めていく時、本当の祈り・信仰が見えてくることを教えてくださいました。私にとっては容易く読み進められるものではありませんでしたが、だからこそ一つひとつの言葉が沁み入っていくのを感じました。

自分の生き方、自分の人生観を確立しながらキリストの心を生きることに子ども達を導くために、まず人を大切に、人への優しさを失わず、神様に声に耳を傾けながら現実を生きていきたいと思っています。

ロザリオの集い

P.A.M. (小さきマリアの使徒会) は、奉仕の精神をもって、学校の中で輝ける子になれるように活動をしています。P.A.M. の児童が進行を務め、私たちが目標とするマリア様にお祈りを捧げる、ロザリオの集いを行いました。1 か月間、学校のために奉仕した P.A.M. の児童にインタビューをしました。

3 年生までは、集いに参加するだけの立場で、それだけでも神様のことを考えたり祈ったりすることはできたけれど、4 年生になって P.A.M. でいろいろ学んだから、集いを行う側になって、また参加するときの気持ちが変わった。

体育館にみんなで集まれたり、おみどりに集まる人数が増えたりして、星美のみんなに、これまでよりも、神様のことをたくさん伝えられたと思う。

失敗してしまうこともあったけれど、次の機会に改善しようと思って、準備を頑張った。

星美のみんなを、「ロザリオの集いに行きたい。お祈りをしたい。」という気持ちにさせられたと思う。



秋の遠足

1 年 林試の森公園

1 年生は、学校近くにある林試の森公園に行きました。「友達と仲良く過ごす」と生活科の「公共施設でのマナー」の学習を目的としています。行きは徒歩で公園に向かい、クラス遊びやクラス対抗の紙飛行機大会を行い、楽しい時間を過ごしました。帰りはバスに乗り、マナーを確認しながら帰ってきました。



3 年 野川公園

3 年生は、野川公園に行きました。自然観察園でのオリエンテーリングでは、彼岸花の群生や、普段あまり目にする事のない植物にも触れ合いました。午後は、アスレチックや鬼ごっこ、自然を利用したの工作など、自分で選んだ遊びを楽しみ、国語で学んだ「ちいちゃん」のように、真っ青な青空に向かって、友だちと「影おくり」することもできました。

4 年

小金井公園

4 年生は、小金井公園へ行きました。午前中は併設する江戸東京たても園でグループワークを行いました。事前に計画を立て、地図を見ながら目的の建物を探し、昔のくらしの様子を学ぶことができました。昼食後は広い公園でクラスごとに思いっきり体を動かして遊び、秋の一日を満喫しました。



5年

高尾山

美しい木漏れ日の中、流れる川の水の冷たさを感じたり、土や木を踏みしめたりすることを楽しみながら登山を楽しむことができました。自然への感謝と共に、励まし合う仲間への感謝の気持ちを持ち、絆を深めました。



6年

富士巡礼

「私は、バスからの景色が、建物ばかりの都会から、だんだんと緑が豊かになる様子を感じながら見ていました…」児童の感想文の一節です。6年生ならではの視点を感じます。9月27日の富士巡礼の日、山中湖畔の修道院の聖堂で、日々のお恵みに感謝して祈った後、いよいよ富士山5合目へ。富士山頂の見える素晴らしい景色とともに、一日中皆笑顔で過ごしました。

2年

秋の自然教室

楽しい合しゆく

2年

わたしたち2年生は、はじめての合しゆくに行きました。朝おきて学校へ行き、いよいよ出ばつです。わたしの心に1番のこったのは、しゅう道いんでくりやまつぼっくりをひろったことです。なぜかという、みんながえ顔でひろっていたし、わたしがくりを1つしかもっていなかった時に、まわりの友だちが何かくれるというやさしい気持ちにふれたからです。

わたしにとってははじめての合しゆくだったけれど、さびしくありませんでした。まわりには友だちがいたからです。とっても楽しい合しゆくでした。



芸術鑑賞会

音楽影絵 1～3年『ピーターパン』 4～6年『星の王子様』

秋のげいじゅつかんしょう会

3年

今日のげいじゅつかんしょう会では、たくさんのおどろきがありました。まず、体育館には大きなセットがあっていつものふんい気とはぜんぜんちがう体育館でした。

えんそうは、3しゅるいの楽きだけなのに、たくさんの方の楽きのように思えました。メドレーに出てきた曲で、手びょうしをしたり、歌ったりしていたら、とつぜんかげ絵が出てきて、大きくなったり小さくなったり、どんどんワクワクしてきました。

そして、いよいよピーターパンが始まりました。わたしは、またまたびっくりしました。なぜかという、本当にその世界にいるように感じたからです。だからわたしもいっしょにネバーランドに行っているような気持ちになってとても楽しかったです。



芸術鑑賞会

5年

ぼくは、バイオリン、チェロ、ピアノの演奏で校歌の演奏が特に心に残りました。ぼくもオーケストラの中でバイオリンを担当しています。校歌は高い音をひくことがむずかしいです。いつもは、自分がひいているからわからないけれど、初めて自分の音を聞いたような気分になりました。

影絵の劇では、「星の王子様」を見ました。星の王子様はずっと一人でした。王子様は、「星を見るたびにぼくのすずのような笑い声が聞こえてくるよ。」とパイロットに言って、息を引き取りました。ぼくは、涙が出そうになりました。また、王子様が「本当に大切なものは目に見えない。」と言ったところが心に残りました。目に見えるものは、お金で買えるけど、目に見えないものはお金では買えません。だから、ぼくはこれからも友達を大切にしようと思いました。

芸術鑑賞会を通して、ぼくは大切なものに気づくことができました。楽器演奏では堂々とひいている姿を見て、自分も舞台上でひく自信がわいてきました。そして、影絵の劇からはこれからも友達を大切にしたいと思うことができました。来年の芸術鑑賞会も楽しみです。